

第84期 報告書

証券コード 6246

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

CONTENTS

Top Message 1

事業の概況 3

事業紹介 5

業績の概況 7

株式の状況 9

会社概要 10

株式会社 テクノスマート

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第84期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当期における世界経済は、米国での雇用関係の改善や、欧州での設備投資の増加を背景に底堅く推移いたしました。米政権の政策動向や、中東や極東アジアを中心とする国際的緊張の高まりへの警戒感が強まりました。国内経済では緩やかな回復基調が持続しているものの、米中の保護主義的な動きや地政学的リスクから、当社を取り巻く環境は先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関係する光学系フィルム業界では、中国において液晶フィルム関係で大型設備投資が進められております。なお国内では新規投資の動きが見られるものの、中小型の規模の設備投資に留まっております。また、電気自動車関連の車載用リチウムイオン二次電池の業界でも国内で新規投資の動きが見られるものの、大型投資は中国と米国に集中しております。当社においても売上高に占める輸出の割合が増加しており、この傾向は、少なくとも今後2～3年間は続くものと思われま。

このような状況下において、当社では、大きな成長

が期待される電気自動車関連への車載用リチウムイオン二次電池の電極用やセパレータ用及び燃料電池用塗工乾燥装置、液晶テレビ・スマートフォン・タブレット端末用の光学フィルムやタッチパネル用塗工装置、医療材用塗工乾燥装置及び電子部品関連塗工乾燥装置の受注強化に取り組んでまいりました。その結果、海外における車載用リチウムイオン二次電池業界及びディスプレイ用光学フィルム業界での大型設備投資に対する受注高に大きな伸びがありました。

昨年同期と比較し、売上高、営業利益、当期純利益、及び受注高並びに受注残高はいずれも増加いたしました。個別の受注金額は、中国市場や新興国を最終需要先とした国内企業向けをはじめ、中国や韓国企業向けでも、国内外の設備メーカーとの価格競争は大変厳しいものとなっております。

今後も光学フィルム関連と合わせて、二次電池及び燃料電池などのエネルギー関連業界に対し、更なる販売強化に取り組むと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年6月

Changing Life with Coating Technology

「塗工技術で生活に変化を」

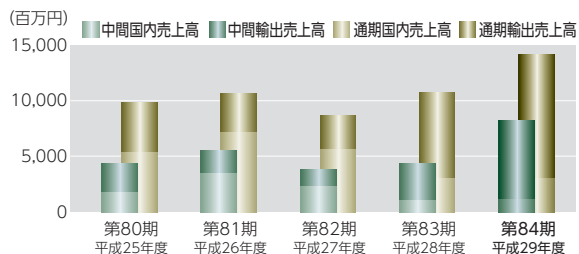
私たち『株式会社テクノスマート』は、「塗工」・「乾燥」で世界の人々に貢献できる企業を目指します。

代表取締役社長

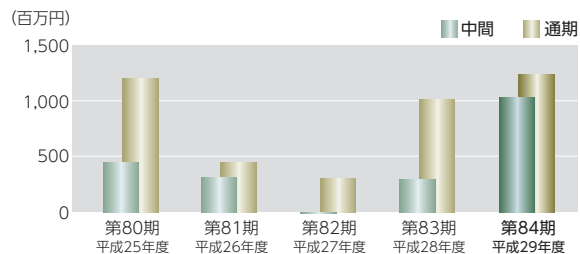
高 橋 進



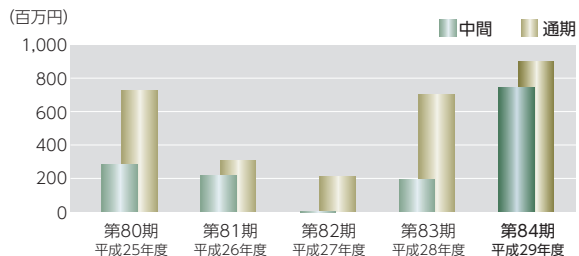
国内売上高・輸出売上高



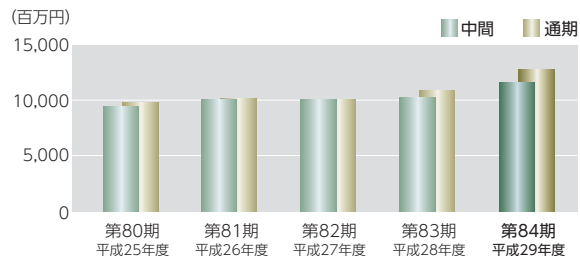
営業利益



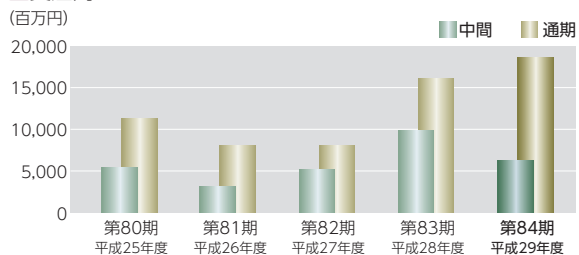
当期純利益



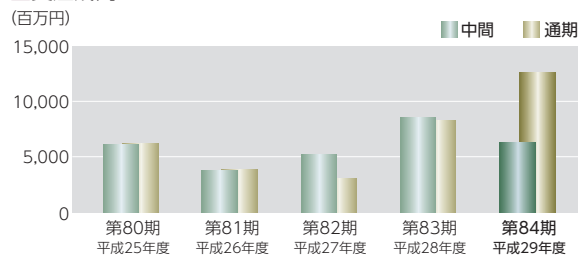
純資産額



受注高



受注残高



平成31年3月期 業績予想

売上高 **18,000** 百万円

営業利益 **1,800** 百万円

当期純利益 **1,200** 百万円

これからも生産技術の ベストソリューションを 提案してまいります。

産業社会の発展に伴う多種多様なニーズに対し、営業、実験・開発、設計、製造グループといった総合的なサポート体制で臨み、着実に成長を遂げてまいりました。

〔 経 営 理 念 〕

誠実

真心をこめて一流の製品を作り、お客様の発展を地域への貢献ならびに我々社員の幸せの為に献身しよう。

行動

全社員の英知と総力を結集し世界的な会社の創造に邁進しよう。

転回

常に開拓者精神を培い、いかなる時勢の試練にも冷静かつ進取不屈の精神で事業永遠の繁栄に努力しよう。

経 営 理 念

環 境 理 念

独 自 理 念

〔 環 境 理 念 〕

地球環境の保全が将来にわたり重要な課題であることを認識し、企業活動のあらゆる側面において社員一人一人が、環境汚染の予防、環境保全に配慮しながら事業活動を推進する。

基本 方針

- 環境保全に関する意識向上を図る。
- 環境保全活動の目的・目標を定める。
- 環境関連法規法令及び当社に関連するその他の要求事項を遵守する。
- 環境マネジメントの維持向上を図る。
- 環境保全のために地域社会に貢献する。
- 環境理念と基本方針は全社員が周知徹底し、必要に応じて社外にも公表する。

〔 独 自 理 念 〕

理想的なコーティングラインのために

テクノスマートは独自の理念「C-5」を提案します。

当社は最高の品質をお客様にご提供するため、独自の理念「C-5」を掲げ製品開発に取り組んでいます。

これらの理念どれもモノづくりには欠かせないという認識のもと、すべての製品に対しテクノスマートの知恵と情熱が注がれているのです。

- ① クローズドタイプアプリケーションの採用
- ② クリーンルーム対応の設備
- ③ コンパクト設計
- ④ カセットチェンジコーターの採用
- ⑤ コンピューターシステムの導入

機能性紙・フィルム関連塗工機器が伸長し、 ディスプレイ部品関連は堅調に推移。

ディスプレイ部品関連機器

液晶用表示装置に代表される光学用途フィルム塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。

売上高比率
35.0%



エネルギー関連機器

二次電池用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。塗工機以外の二次電池用製造装置及び関連機器。

売上高比率
29.9%



機能性紙・フィルム関連塗工機器

一般産業資材用の紙・フィルム用塗工装置及び関連する乾燥熱処理装置。

売上高比率
26.4%



化工機器

高機能性繊維・不織布関連の製造装置及び乾燥・熱処理装置並びに関連する付属機器。ポリマー樹脂等化工品の乾燥・熱処理装置。各種エンプラフィルム用製膜関連製造装置。

売上高比率
0.4%



電子部品関連塗工機器

半導体、FPC等電子部品関連用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置。

売上高比率
3.0%



その他

各種関連機器の部品製造並びに改造・修理。

売上高比率
5.3%



「Techno Smart Series」のご紹介

塗工・乾燥装置を標準化することで製品開発から量産までの期間短縮ができるようになりました。

塗工乾燥装置の標準化「Techno Smart Series」

高精度コーター



高精度モーター、特殊カップリング高精度軸受の採用。

VCDコーター



低速～高速まで幅広い塗工速度範囲に適用。

CEDコーター



高品位塗工に対応クローズドコーティングシステム。

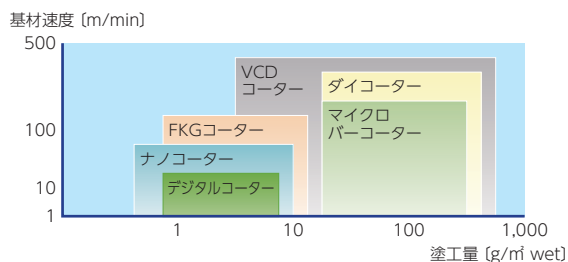
FKGコーター



版目の転写がない。ロール、ドクターブレード交換が容易。



カセットチェンジ方式で容易に塗工方式の変更が可能



ナノコーター



優れた薄膜塗工性能。スジムラがない。容易なロッド交換方式。

多層ダイコーター



多段化したスロットル構造により単層～多層の同時塗工を実現。

デジタルコーター



WET10 μ m以下の薄膜塗工。複雑な任意パターン塗工。

スマートラボ



研究、試作用途に対応した設置場所を選ばないコンパクト設計。

タッチパネル、二次電池のご紹介

タッチパネルのご紹介

ハードコートフィルムの製造には、当社の装置が使用されています。



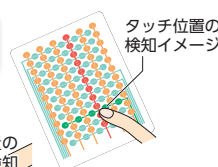
指先が触れた時に電極の変化をX軸・Y軸の電極列から知ることによって位置を把握できます。

ITO層
(Y軸方向)
絶縁体
ITO層
(X軸方向)



断面図

電気容量の
変化検知
絶縁体



タッチ位置の
検知イメージ

ITO層
電気を通す透明な薄膜。
真空中で金属を高温加熱し、蒸着により、電気を通す膜をつくる。

ハードコートフィルム
(表面保護)
繰り返し使用しても傷が入りにくく、透明度が高く表面を保護している。

偏光板・ITO層ハードコートフィルム・IM (インデックスマッチング) フィルムの製造には、当社の装置が使用されています。

- 偏光板 (偏光フィルム)
特定の振動方向の光だけを通過させ、他の光を遮断させる。
- ITO層ハードコートフィルム
タッチパネル操作には欠かせないフィルムで、透明で電気を通す性能を持つフィルムです。
- IMフィルム
ITOパターンの視認性を低減する機能を持ち、タッチパネル画面を見やすくする機能があります。反射防止機能を持つものもあります。

タブレット端末



- ▼使用箇所
- ハードコートフィルム
 - 偏光フィルム
 - 反射防止フィルム

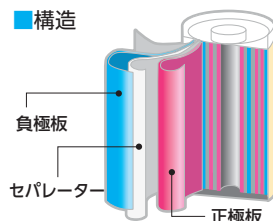
スマートフォン



- ▼使用箇所
- ハードコートフィルム
 - 偏光フィルム
 - 反射防止フィルム
 - フレキシブルプリント基板

二次電池のご紹介

■構造



二次電池は、充電式電池ともいい、電気を蓄えて繰り返し使用することができます。

二次電池

- ▼使用箇所
- 正極板
 - 負極板
 - セパレーター



■主な分類

	ニッケル水素電池	リチウム・イオン電池
自然放電	少ない	非常に少ない
エネルギー密度	高い	非常に高い
コスト	安い	高い
主な用途	ハイブリッドカー 電動工具	ハイブリッドカー 電気自動車 パソコン・携帯電話

業績の概況

■貸借対照表 (平成30年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	14,936,669
現金及び預金	5,493,281
受取手形及び売掛金	7,830,257
電子記録債権	1,251,324
たな卸資産	234,483
その他	131,001
貸倒引当金	△ 3,679
固定資産	4,454,773
有形固定資産	2,977,555
建物	717,352
機械及び装置	168,825
土地	2,026,407
その他	64,969
無形固定資産	8,394
投資その他の資産	1,468,822
投資有価証券	1,351,721
その他	119,401
貸倒引当金	△ 2,300
資産合計	19,391,443

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	5,205,950
支払手形及び買掛金	1,615,297
電子記録債務	1,910,790
1年以内に返済予定の長期借入金	352,504
未払法人税等	259,290
前受金	676,688
賞与引当金	146,939
役員賞与引当金	40,311
その他	204,128
固定負債	1,352,829
長期借入金	194,720
退職給付引当金	649,377
資産除去債務	8,898
その他	499,834
負債合計	6,558,780
純資産の部	
株主資本	11,230,610
資本金	1,412,014
資本剰余金	1,141,541
利益剰余金	8,680,271
自己株式	△ 3,215
評価・換算差額等	1,594,193
その他有価証券評価差額金	490,159
土地再評価差額金	1,104,033
新株予約権	7,858
純資産合計	12,832,662
負債・純資産合計	19,391,443

■損益計算書 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)
	前 期		当 期	
売 上 高	10,837,577	100.0	14,285,406	100.0
売 上 原 価	9,116,029	84.1	12,215,126	85.5
売 上 総 利 益	1,721,548	15.9	2,070,280	14.5
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	713,142	6.6	807,665	5.7
営 業 利 益	1,008,405	9.3	1,262,615	8.8
営 業 外 収 益	45,766	0.4	44,773	0.3
営 業 外 費 用	21,631	0.2	25,644	0.2
経 常 利 益	1,032,540	9.5	1,281,744	9.0
特 別 利 益	735	0.0	—	—
特 別 損 失	5,500	0.1	10,599	0.1
税 引 前 当 期 純 利 益	1,027,775	9.5	1,271,144	8.9
法 人 税 等	335,000	3.1	380,550	2.7
当 期 純 利 益	692,775	6.4	890,594	6.2

■キャッシュ・フロー計算書 (平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位：千円)

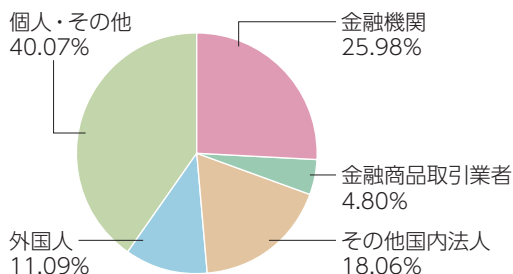
科 目	金 額	金 額
	前 期	当 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	823,874	△ 699,735
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 209,898	△ 33,055
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 312,428	619,433
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 310	79
現金及び現金同等物の増減額	301,236	△ 113,277
現金及び現金同等物の期首残高	5,205,322	5,506,559
現金及び現金同等物の期末残高	5,506,559	5,393,281

株式の状況 (平成30年3月31日現在)

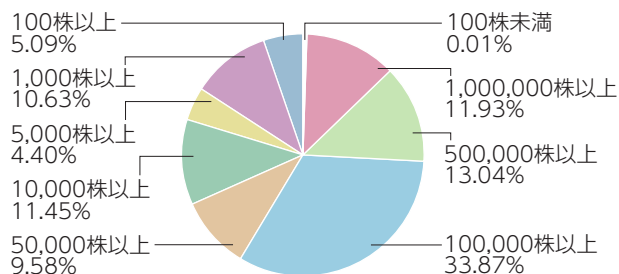
■発行可能株式総数	25,000,000株
■発行済株式の総数	11,471,720株
■株主数	3,408名

(注) 平成30年2月1日に発行した第三者割当による行使価額修正条項付第1回新株予約権に伴う新株予約権の行使により、発行済株式の総数は650,000株増加しております。
また、平成30年5月21日までに当該新株予約権の行使がすべて完了し、発行済株式の総数は、平成30年5月21日現在、12,401,720株となっております。

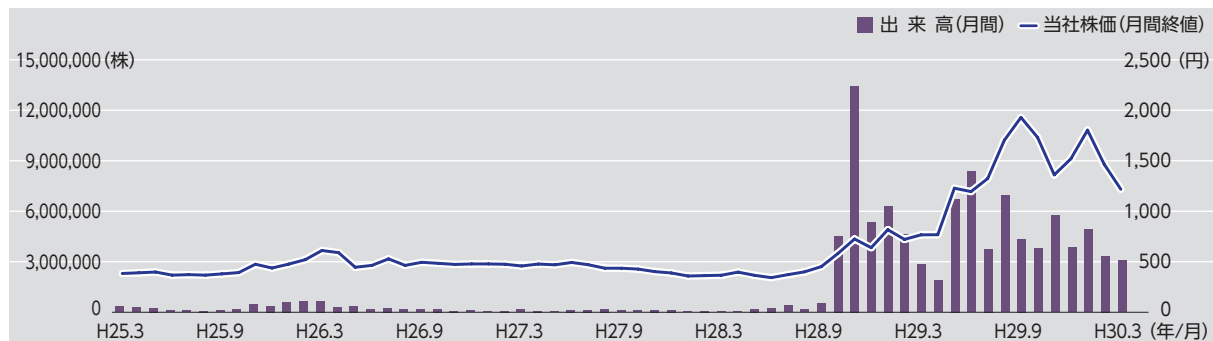
■所有者別株式分布



■所有数別株式分布



■当社株価と出来高



会社概要 (平成30年3月31日現在)

社 名 株式会社テクノスマート
 創 業 1912年6月15日
 資 本 金 14億1,201万円
 本社所在地 〒541-0056
 大阪市中央区久太郎町二丁目5番28号
 久太郎町恒和ビル2階
 電 話 06-6253-7200 (代)
 従 業 員 数 256名
 上場取引所 東京証券取引所 第2部
 証 券 コー ド 6246
 事 業 所 東京支店 (東京都中央区)
 滋賀工場 (滋賀県野洲市)



■役員 (平成30年6月26日現在)

代表取締役社長 高 橋 進
 常 務 取 締 役 柳 井 正 巳
 取 締 役 飯 田 陽 弘
 取 締 役 山 田 靖
 取 締 役 下 村 壽 一
 取 締 役 (監 査 等 委 員) 矢井田 修
 取 締 役 (監 査 等 委 員) 波多江 嘉 度
 取 締 役 (監 査 等 委 員) 青 木 透

■第14回 国際高性能フィルム製造技術展への出展

2017年11月24日から26日に中国深圳において開催された「第14回 国際高性能フィルム製造技術展」に、当社はパネル展示の形態で出展しました。開催期間が金曜日から日曜日の週末にかけての3日間ということで、来場者数が心配されましたが、前回とほぼ同数の企業の方々に来場いただき、当社の企業PRを行うことができました。当社の情報をより多くの方に発信し、新規開拓を積極的に行いたいと考えております。



■株主・投資家情報サイト

<http://www.technosmart.co.jp/investor>

■トップページ



当社ホームページではIR情報、製品情報など最新の情報がご覧いただけます。どうぞご利用ください。

■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
*その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日

単元株式数 100株

公告方法 電子公告により行う
公告掲載アドレス：http://www.technosmart.co.jp/
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
[郵便物送付先/各種お問合せ先] 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)
[受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)]
ホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に
基づき、より多くの人に見やすく読みまちが
えにくいデザインの文字を採用しています。

